

NO.	分野別No.	分野	意見・質問	質問者	担当課
1	4	共通	情報社会にとって、メディアリテラシーの向上は必要不可欠である。分野別に位置づけると共に、学校教育でも推進されていることはその基盤作りへと繋がっていく。今後もあらゆる場で多くの市民がメディアリテラシーの研修を積み多くの情報の中から偽情報等を見抜き、自らの道を幸せに生きられるようさらなる啓発推進を期待する。	G委員	人権擁護課
2	9	部落差別	約半数の部署が研修を行っていただき重点課題等への認識や必要性を深めることができたのは大きな成果だと思います。 ただ、執行率44.4%決して高い数字であるとはいえません。お忙しい中ではありますが、来年度はひとつでも多くの部署で研修を行っていただけるようよろしくお願いいたします。	A委員	人事課
3	34	部落差別	十里まちづくり事業の啓発は、目標（小学校9校）に届いていませんが、理由と今後の見込み、対応について質問します。	B委員	ひだまりの家
4	36	部落差別	地区別懇談会の持ち方が選択制になり、評価は3である。工夫点や改善点について知りたい。	D委員	人権擁護課
5	36	部落差別	社会人推進員105名の参加者による全体説明とミニ研修の開催ができたことは、よかったと思います。普段の何気ない会話の中にも、意識を高くもった人から発せられる言葉で啓発ができることもある。 また、自治会でのコース選択は初めての試みなので、たしかに住民への浸透とその把握は難しい。検証のためにはアンケート（自治会長）等何かアイデアが必要であると思います。	A委員委員	人権擁護課
6	53	部落差別	2025年9月に実施された市民意識調査結果を見ると「住民が解決すべき人権課題はどれか」の問いに1位が46%のインターネットによる人権侵害に関わる問題と答えている。この点について市としての取組状況や今後の方針について審議会において協議できたらと思っている。	D委員	人権擁護課
7	87	子ども	高校や各種学校等に進学しなかったり、中退したりして無職でいる少年には、それまでの歩みに複雑な要因があったのだろう。 今、就職という新たな支援をすることによって、本人の貴重な歩みの一歩となるように、また少子高齢化社会の担い手となってくれるようお願いしたい。 少年センターが非行や犯罪の防止に、就学や就労の支援に温かく適切にご尽力賜っていることに感謝し、引き続き施策の充実発展を祈念する。	G委員	生涯学習課
8	105	高齢者	在宅医療、居宅介護、看取り等、その啓発は対応しなければならない今日的課題ではありますが、前年度の評価から今年度は3になっている理由と、これからの具体的な取り組みについて伺います。	B委員	長寿福祉課
9	108	障がいのある人	専門知識を有する人材にしかできない仕事であるので粘り強く募集を継続するしかないが、AI等の機器に代えることも可能な場合があると思います。文字おこしをして会話をできるものなども視野にいれ予算がつくような話ができないのでしょうか。	A委員	障がい福祉課
10	145	インターネット	インターネットでの誹謗中傷、名誉やプライバシーの侵害については、市レベルでは啓発、手続きの周知等が主となり、権限上からも限界があります。 国レベルでの対応が不可欠であり、国へ要請する必要があると思いますが、国の現状働きかけについて伺います。 子どもたちにも、自分がそのような攻撃を受けた時の対処や解決方法を教える必要があると思いますが、現状について教えて下さい。	B委員	人権擁護課
11	158	さまざまな人権問題	Aさんは暴力事件を起こし、長期間意識がなく入院中の妻と3人の子どもを残し刑務所へ。世間の偏見や差別は厳しかった。しかし3人の子どもの友だちやその保護者は以前と変わらぬ温かい態度で接し励まし支えてくれた。出所後Aさんは子どもたちと家事を分担し、一人で土木関係の仕事に精を出した。近隣の人たちやPTA関係の理解やつながりも深まり、子どもたち3人は大好きな野球やピアノでよき自己実現、地域の温かい支えが一家の光明に。	G委員	生涯学習課
12	-	-	市職員の人権を守る現状と取りくみについて知りたい。 (住民からのモラハラ、園での過度な保護者からの要求、庁舎内での人権侵害など)	D委員	人事課 人権擁護課